

大宜味村新庁舎建設基本設計報告書 (概要版)

令和2年11月



※パースについてはイメージの為、今後実施設計により異なる部分が生じます

外観イメージパース

「豊かな森」の保全を図りつつ、「長寿の里」の資源を最大限に生かし、
「活力ある村づくりの拠点となる庁舎づくり」を目指します。

■ 豊かな森・海の見える高台・山からの清流・文化資源など『敷地のもつ魅力を活かした庁舎づくり』を目指します

- ・周辺の自然環境を積極的に取り入れ海や山への眺望が豊かな建物
- ・村民テラスやフリースペースによる眺望の良い心地よい空間を計画

■ 既存施設や周辺集落、アプローチ道路など周辺環境の再整備を提案し『活力ある村づくりに寄与できる庁舎づくり』を目指します

- ・敷地内の環境を向上させ、石碑や文化財を極力保存する魅力ある空間を計画
- ・旧庁舎や現議会棟から容易にアクセス可能な動線を確保

■ 安心・安全を確保し『村民みんなの快適な庁舎づくり』を目指します

- ・防災拠点、避難施設
- ・高潮や津波に配慮する計画

■ コストパフォーマンスの高い『経済性と機能性に優れた庁舎づくり』を目指します

- ・日射遮蔽縦ルーバーにより環境負荷軽減に配慮
- ・自然採光や自然換気を積極的に取り入れ設備エネルギー削減に考慮した計画

■ 芭蕉など大宜味村らしい景観を考慮し『村民に親しまれる庁舎づくり』を目指します

- ・屋内空間において芭蕉模様や自然素材を用いた検討を行う
- ・周辺施設にも配慮した村民に馴染みやすいデザイン計画



配置計画

- 周辺施設と連携し、村民が集える憩いの広場を計画します
- 美しい海や豊かな森の景観が眺望できる平面計画とします
- 雨天でも濡れずに乗降できる車寄せを設置します
- 駐車場 79 台（公用車を含む）を確保します



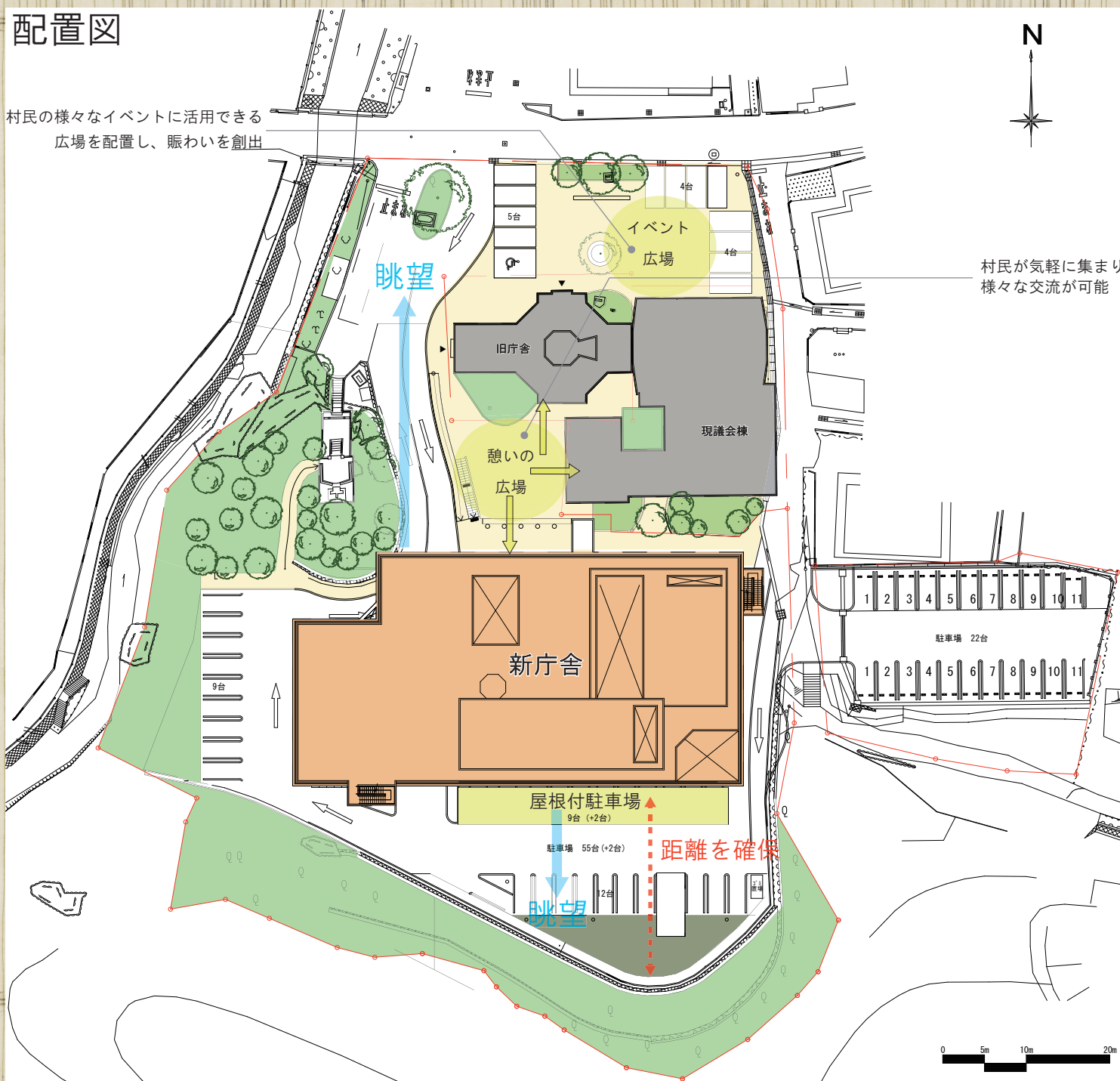
ユニバーサルデザイン

(誰でも利用可能であるようにデザインする)

- 屋根付きの車いす使用者用駐車場（思いやり駐車場）を確保します
- 思いやり駐車場に近接して施設の専用口を設置します
- 各階に誰でも利用できる多目的トイレを設置します
- 来庁者に分かりやすいサインを設置します

配置図

村民の様々なイベントに活用できる
広場を配置し、賑わいを創出



村民が気軽に集まり
様々な交流が可能



2階執務室イメージ

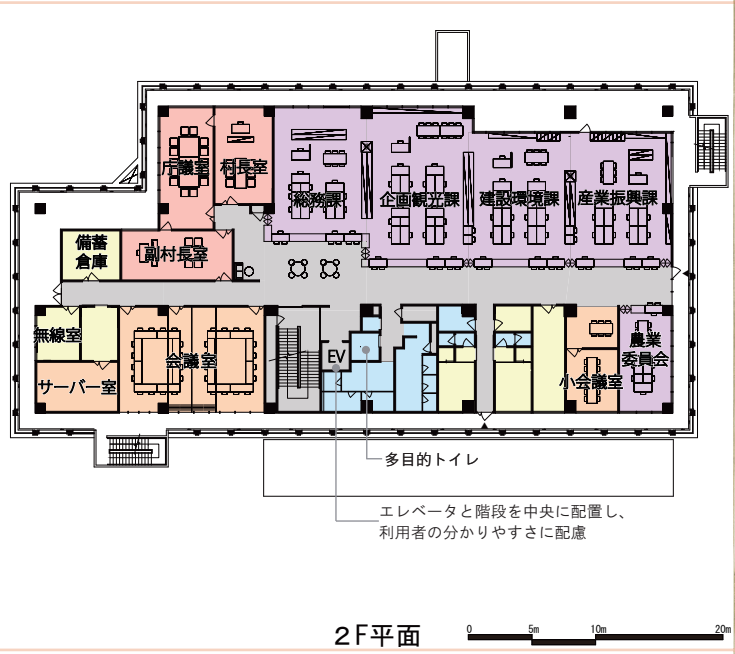
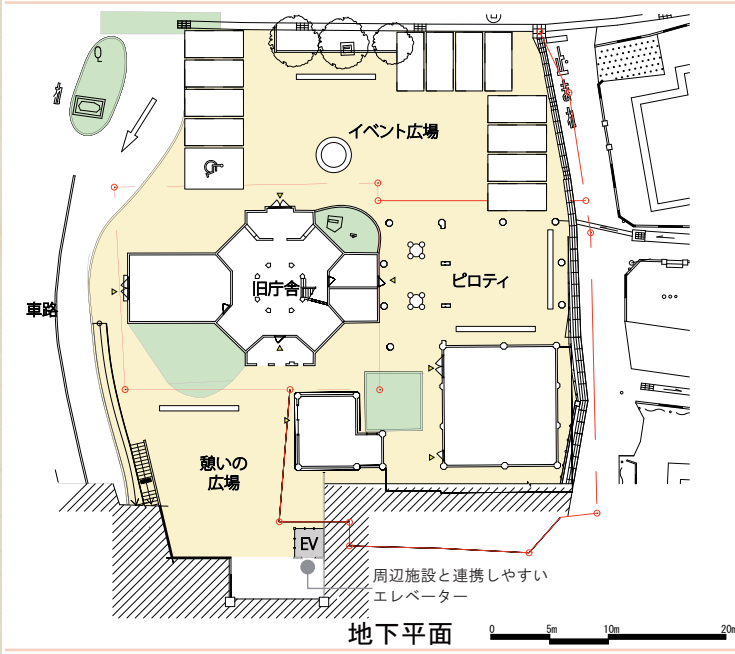
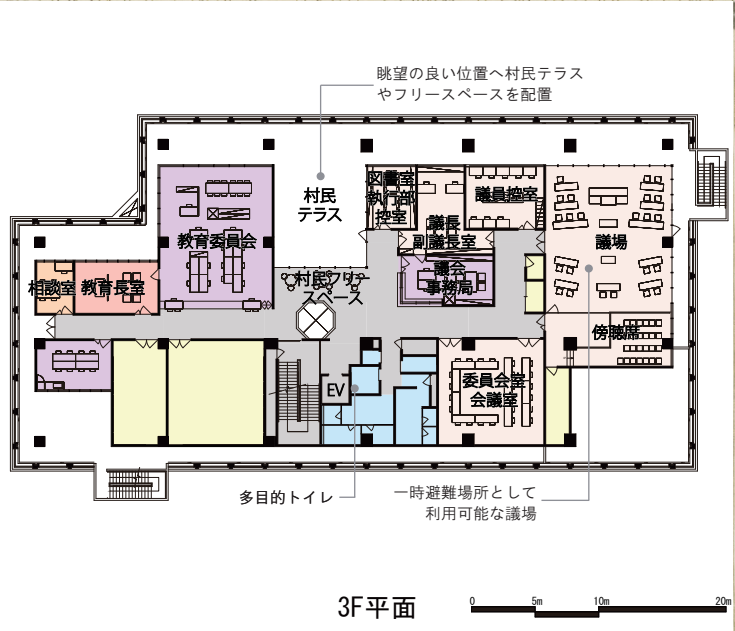
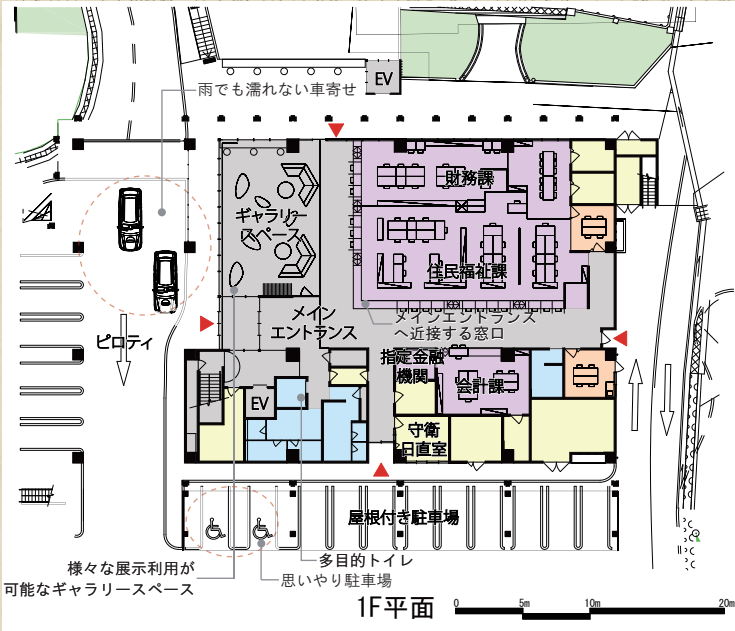


1階ギャラリーイメージ



平面計画

- ・地下階には旧庁舎や憩いの広場から庁舎へ上がるエレベーター等の設置を検討します。
- ・1Fに村民利用が多い窓口事務、2Fには専門業務や調整の多い非窓口業務や村長室、副村長室、会議室等を配置
3Fには議会部門と教育委員会を配置し行政業務の効率化と村民サービスに努めます。
又、村民フリースペースや村民テラスなど、村民が自由に利用できるスペースを確保します。



凡例

- 執務スペース
- トイレ等
- 倉庫等
- 居室等
- 会議室等
- 議場等
- 出入口



建築概要

敷地面積：5,890.53㎡	各階面積	階数	：地下+地上3階+PH階
延床面積：3,582.93㎡	2階	最高高さ	：約17.863m
屋内面積：2,877.17㎡	1階	構造種別	：鉄筋コンクリート造
建築面積：1,472.09㎡	地下	駐車台数	：敷地内79台
		PH階	：175.41㎡
		3階	：992.74㎡



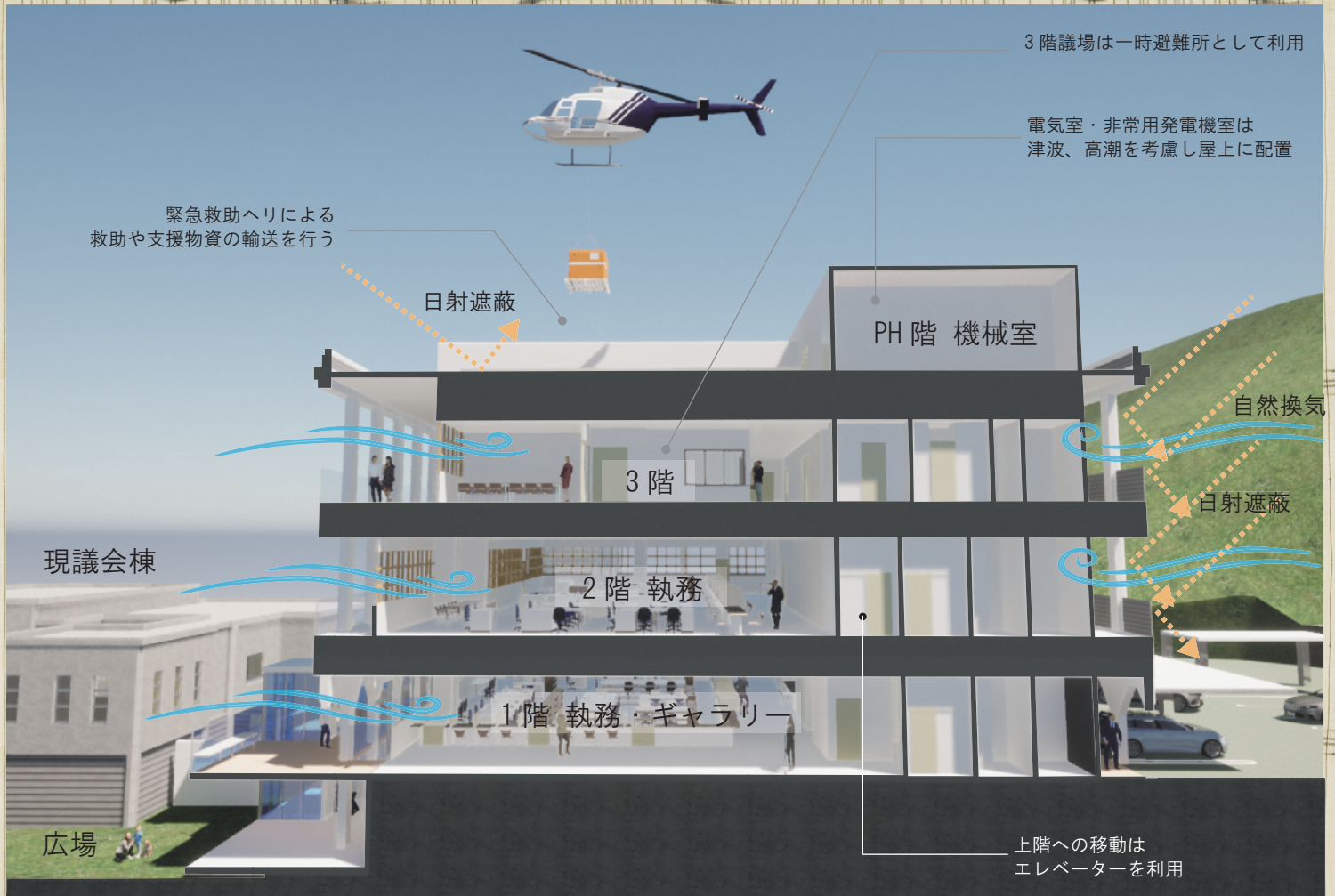
防災計画

- 地域防災機能を有する新庁舎
- 自立した庁舎運用が可能な防災設備計画
- 村民の一時避難場所や備蓄倉庫を配置
- 救援活動に備え屋上へ緊急救助用ホバリングスペースを計画
- 災害情報伝達手段に連携した通信設備を構築



省エネルギー計画

- 日射遮蔽や台風時の強風を和らげる庇やルーバーにより空調負荷軽減に配慮
- 自然エネルギー（自然換気、採光）の有効利用を図る
- 人感センサーや昼光センサーによる照明エネルギー削減
- 雨水利用を計画



建設工程

新庁舎建設工事着工予定：令和3年（2021年）9月 ▶ 新庁舎供用開始予定：令和5年（2023年）5月

概算工事費

新庁舎概算建設工事費：1,316,000,000円（税抜き）

問合せ：大宜味村役場 プロジェクト推進室

TEL：0980-44-3007 FAX：0980-44-3999